

「日本デー2023」（ドイツ・デュッセルドルフ）出展レポート

イベント名	日本デー デュッセルドルフ/NRW (Japan-Tag Düsseldorf/NRW)
日時	2023年5月13日(土)
場所	ドイツ・デュッセルドルフ市 ライン川岸
主催者	・デュッセルドルフ/NRW 日本デー協会 (デュッセルドルフ日本商工会議所、デュッセルドルフ日本クラブ) ・ノルトライン・ヴェストファーレン州経済・イノベーション・デジタル化・エネルギー省 ・ノルトライン・ヴェストファーレン州貿易投資振興公社 ・デュッセルドルフ市
参加者数	約65万人(主催者発表)
ホームページ	http://www.japantag-duesseldorf-nrw.de/

1. イベント概要

★デュッセルドルフ市

デュッセルドルフ市はドイツの北西部ノルトライン・ヴェストファーレン州(NRW州)の州都で、人口約62万人の西ドイツを代表する都市です。NRWには600を超える日本企業が進出しており(ドイツ国内でも最大規模)、欧州屈指の日本人コミュニティがある街としても知られています。

★日本デーとは

日本デーは、ドイツ・デュッセルドルフ市のライン川沿いを会場に行われるヨーロッパ最大級の日本文化イベントです。2002年から始まり、コロナ禍での中止を経て、今年で20回を迎えました。

会場内の複数箇所に設けられたステージでは、和太鼓や琴の演奏、柔道、剣道、居合道などの演武、コスプレファッションショーやカラオケ大会などが行われたほか、生け花、着物の着付け、日本語教室など様々な体験ができるブースが設けられました。

日本の地方自治体からは、デュッセルドルフ市やノルトライン・ヴェストファーレン州と交流のある千葉県や福島県が出展され、兵庫県パリ事務所も当事務所ブース内にて観光PRを行いました。23時頃からは、日本から招かれた花火師による大規模な花火大会も行われました。今年度は「日本の四季」をテーマとしたもので、美しい花火

が次々に打ち上がる度、観客からは大きな歓声が上がりました。来場者にとって、日本文化を体感する素敵な一日になったことと思います。

また、日本デーの開催に合わせて日独経済シンポジウム等関連行事も開催されており、デュッセルドルフ市にとって重要な一大イベントとして位置づけられています。



★日本デーの来場者

観光、食、アニメや漫画など、日本文化に関心のある方々が会場のライン川沿いの遊歩道やブルク広場を埋め尽くすほど来場します。小さなお子様からお年寄りまで年齢層も幅広く、ご家族連れの方々も多く見受けられました。

当事務所ブースのご来場者については、訪日旅行に関心のある方々が主で、パンフレット等を見ながら旅行計画の検討に向けた情報を収集されていました。イベントの正式な開始時間は12時からではありますが、10時頃から少しずつご来場される方が見え始め、既に11時頃には会場に人が溢れていました。

2. 当事務所ブース

★出展内容

当事務所のブースでは次のような取り組みを行いました。このうち、(5)～(7)の取り組みについては、今年から実施したものです。

(1) 各自治体提供のパンフレット、ノベルティの配布、ポスターの展示等による日本各地のPR

各自治体から提供いただいたパンフレットやポスターを用いて、ご来場者の皆様に日本各地の魅力をPRしました。昨年度よりも数百部多く用意していたものの、2～3時間程度で全て無くなってしまふほどの人気でした。具体的な旅行の予定はないという方も、気に入ったデザインのパンフレットをお持ち帰りになられていました。シールやボールペン、缶バッジ、ミニタオルなど、ノベルティグッズも非常に人気で、お子様用にと持ち帰られる方も多く、ご家族連れの方々に特に喜ばれました。



ポスターも非常に人気が高く、写真を撮影される方、どこで手に入れられるのかと尋ねる方、ポスターを売ってくれないかというお声もありました。特に桜や城など、日本の美しい風景や伝統的な建築物が描かれているもの、アニメ・漫画をモチーフにしたものが人気の様子でした。

(2) タブレット端末も利用して、自治体の観光PR動画の放映や来場者からの質問に対する情報提供を実施

各自治体から提供いただいた観光PR動画を放映し、日本各地の観光地の魅力をお伝えしました。また、来場者からの各種質問に対して、タブレットを用いて情

報提供を行いました（タブレットには、JNTO のウェブサイト、ジャパンレールパス、桜前線など、よくある質問に関連した Web サイトへのショートカットアイコンをあらかじめ用意）。

（3）都道府県の英語版の観光サイト及び SNS についての QR コード表を制作して PR

各自治体の最新かつ魅力的な情報をイベント当日以降も来場者に継続的に閲覧していただくことを目的として、都道府県の英語版の観光サイト、Instagram、Facebook、Youtube アカウントの QR コード表を制作し、できるだけ多くの来場者に閲覧・フォローしていただくよう情報提供に努めました。

多くの来場者が QR コード表にスマートフォンのカメラをかざし、内容をご覧になったり、後ほど確認できるよう写真を撮られていました。パンフレットの配布が終了した後は、こちらにて観光情報をご案内しました。

（4）来場者の名前を書く書道パフォーマンス

パンフレット配布終了後に、来場者のお名前をひらがなとカタカナで書いて差し上げる書道パフォーマンスを実施しました。行列ができるほど好評で、用意した用紙がなくなった後も希望者が絶えず、ご自身で用紙を持参される方もいらっしゃいました。



（5）Instagram「@localeyesjapan」、日本料理のレシピ紹介事業「Cook Local Japan」の PR

当事務所では、日本の地域への関心や認知度の向上、観光誘客の促進を図るために、Instagram アカウント「Local eyes Japan」や、日本各地の料理レシピと観光情報をセットにして提供する Web ページ「Cook Local Japan」を開設しています。

ご来場者の皆様にはチラシやレシピカードの配布等によりこれらの周知を行い、Instagram のフォロワー獲得や Cook Local Japan の認知度向上を図りました。昨年度の出展の際、会場は溢れんばかりの人で、電波がつながりにくいこともあり、掲載している QR コードを読み取れないという課題がありました。今回は、各 QR コードをまとめた配布用のカードを用意したり、書道パフォーマンスで使用する用紙に QR コードを印刷しておいたり、その場で読み取れずとも、お帰りになった後にコンテンツをご覧になっていただけるよう工夫しました。

(6) フリップを用いたアンケート

今年度からの初めての取り組みとして、フリップを用いたアンケート調査を行いました。フリップに記載された質問に対して、回答項目にシールを張り付けてもらうもの（複数回答可）で、情報収集とブースへの集客を目的に実施したものです。老若男女問わず多くの方々が立ち止まって回答してくださり、時には回答希望者で行列ができるほどでした。



質問項目	Japan Tag (ドイツ)	
	回答数	順位
History (歴史)	110	4
Traditional Culture (伝統文化)	120	3
Food (食)	140	1
Art and Design (芸術、デザイン)	57	5
Anime and Manga (アニメ、漫画)	56	6
Nature (自然)	129	2
Handicrafts (工芸品)	30	7
Outdoor Sports (アウトドアスポーツ)	13	8
合計	655	

質問は、「What are you most interested in when you travel to Japan? (日本を旅行する際に最も関心のあることは何か。)」というもので、回答項目は、「History(歴史)」、「Traditional Culture (伝統文化)」、「Food (食)」、「Art and Design (芸術、デザイン)」、「Anime and Manga (アニメ、漫画)」、「Nature (自然)」、「Handicrafts (工芸品)」、「Outdoor Sports (アウトドアスポーツ)」の8つを設定しました。得られた結果は左記のとおりです。

(7) 法被を着用した写真撮影会

こちらから今年度からの初めての取り組みとして、当事務所の法被を着ていただいて写真撮影会を行いました。

当事務所の法被を着ていただき、各自治体から提供いただいたポスターをバックに写真撮影を楽しんでいただくというものです。ブースにご来場いただいた方に思い出を残していただくことに加え、写真を各々の SNS 等で発信していただくことによる PR 効果を期待して実施しました。



小さいお子様をお連れのご家族からお年寄りのご夫婦まで、幅広い皆様にご利用いただき、ご来場者の皆様には良い思い出を残してもらえたことと思います。また、スタッフの浴衣姿も評判で、一緒に写真撮影をご希望される方々も多くおりました。

パンフレットの配布や書道パフォーマンスの終了後もご来場者は絶えず、大変好評な取り組みでした。

★来場者の関心事、問い合わせ事項

他の出展イベントと比較しても年齢層が幅広い印象で、ご高齢の方々も多くいらっしゃいました。当事務所ブースのご来場者は、訪日旅行に関心がある方々が主で、旅行先として検討している場所としては、東京都、京都府、大阪府が最も多く、次いで北海道、沖縄県、広島県、福岡県が多く挙げられました。

一方、アンケートの結果に見られるように自然に対する関心度が高く、地方都市への旅行をご希望されている方々が多くいました。特に、東京都、京都府、大阪府を起点に、近郊の地方都市を旅行したいというお話を多数伺いました。富士山も話題に上がることも多く、富士山を見るおすすめスポットなどのお問合せも複数いただきました。他にもしまなみ海道での自転車旅、お遍路巡りを計画されているというお話も伺いました。

旅行期間は2週間程度でご検討されている方々が最も多く、1か月や4か月という長期の旅行を計画されている方もいました。

また、訪日旅行に行かれたことのある方々については、「一度目は東京都、京都府、大

阪府を巡ったので、次回はその他の地方都市に行きたい。」という声や「次回は北から南まで縦断したい。」というお話される方々もいました。

デュッセルドルフ市内には日本食レストランが多いこともあってか、食に対する関心度が非常に高いような印象も受けました。寿司やラーメンはもちろんのこと、好きな日本食料理としてお好み焼きを挙げる方も多くいらっしゃり、日本料理のレシピ紹介事業「Cook Local Japan」のチラシやレシピカードを見ながら、「この料理は食べたことがある。」や「今度自身で作りたい。」という声もありました。本格的な日本食を楽しむことは、訪日旅行の大きな目的となっているようです。

その他、「旅行するのにおすすめの季節はいつか。」、「観光客がそれほど多く行かない場所で日本を感じられるところはあるか。」、「温泉に行きたいが、どこがおすすめか。」、「猿が温泉に入っている写真を撮りたいが、どこで撮影できるか。」などのご質問をいただきました。

以上